

チ、労働者保護の社会立法に對する各種團體の態度並びにその方針
 リ、臨時工、入夫名義制度の實狀

又、その他九州聯合會の實踐運動の社会的批判とその影響
 右の各項の調査は記録としては不完全なものであるかも知れぬが、飽くまで眞實を正確に収録したるものにして、その事實に於て九州聯合會の諸運動が具體的に立案されたのである。甚だ貧弱、疎漏な報告ではあるが財政上の事情と調査機關不備の九州聯合會としては全力を盡した調査業績である。取えて同志諸君の御了解と御寛恕を乞ふ。

五、争議 部

イ、關係争議一覽表

争議と所在地	關係組合	原因	發生年月日	参加人員	主要要求	獲得條項
宮尾炭坑争議 田川郡香原町	日本石炭坑夫組合	坑主變更 依勤続 年限打切	五月十日	全員	打切手当増額	手當獲得
三菱飯塚坑争議 嘉穂郡穂波村	日本石炭坑夫組合	労務係の 組合員傷害	六月四日			陳謝と治療費、 薪料負擔
黒崎葉菜菊竹組争議 八幡市黒崎町	九州聯合會本部	待遇改善	六月二十四日	四二	労災法適用 その他賃上げ	全要求貫徹
九州電氣工業争議 小倉市金田	九州聯合會本部	待遇改善	七月六日	全員	賃金値上 前の覺書實行	要求貫徹
松屋洋服部争議 福岡市中央	九州聯合會本部	組合壓迫	五月二十七日	八	組合加入の 自由	要求貫徹

眞岡炭坑争議 田川郡糸田村	日本石炭坑夫組合	不當解雇	九月三日	四	解雇反對	手當獲得
松屋洋服部争議 福岡市中央	九州聯合會本部	解雇	九月十三日	一〇	解雇反對と 前同覺書實行	要求貫徹
松本炭坑争議 嘉穂郡妻袋町	日本石炭坑夫組合	賃金不拂	九月二十一日	一二	賃金全額支給	要求貫徹
長禮炭坑争議 相屋郡上須恵村	日本石炭坑夫組合	労務係の 暴力行爲		一		陳謝治療慰籍料 負擔
鈴木炭坑争議 田川郡後藤寺町	日本石炭坑夫組合	労務係の 暴力行爲		四	待遇改善	要求貫徹

ロ、労働争議の概況

右の表に見る如く本年度の争議は小規模にして件数、参加人員に於て激減してゐる。これは各部報告に屢々述べられたが如く、軍需インフレと爲替安に依る景氣に煽られ、労働階級は夜業に續く殘業でその家庭生活と健康をさえ犠牲に供する強制的長時間の労働強化に依る僅少の増収に眩惑され多年失業苦に呻吟し辛くも職を得た臨時工、入夫名義の労働大衆が悲惨なる生活の少康に晏然として資本の攻勢に對して全く無氣力化されてゐること、國際非常時を自己の利益のために逆用する資本家階級の宣傳の術中に陥り、非常時局に臨んで労働階級の生活向上を圖る團結運動、待遇改善運動に參與するは恰ら非國家的、反愛國的行動かの如き感じを懷かされて、労働大衆が自からの生活向上に對して全く畏縮し切つてゐる事實の表現に外ならぬ。更らに、九州聯合會が争議激發主義を排し持ちこみ争議を殆んど拒み、國家産業の平和と發展に協力する健全なる労働組合の建前より争議最少化に努めたことも亦、争議激減の傾向を顯著ならしめてゐる。

故に、かゝる情勢下に發生した争議は労働階級の最低限度の絶對要求にして、資本の狂暴なる攻勢に抗し深刻なる争議戦術は必然にテロ化し隨所に流血の慘禍を捲き起し鮮血を以て九州聯合會の闘争史を彩つた。殊に筑豊炭坑資本家は頑迷